

ブータンの旅

(二〇〇二年一〇月二四日～十一月三日)

秋深し 龍王の都の 荘厳に

稲匂う 辺境の地の さわやかさ

蒼天に 稲刈る人の 見えて居り

パロの丘 ダルシン(経文旗) 翻めき 天高し

古都パロの 谷間稲穂の 黄金色

チョルテン(仏塔)への 道ひとすじに 翳雲

爽やかに 力強きは ソン(城)風景

秋日和 赤とうがらしの 干さる屋根

近代化 急がずゆこう 天高し

(遠くヒマラヤを望んで)

深く吸う 空気清涼 冠雪山

穏やかに 山と雲海に 秋日射す

ここにいる 幸せ感じつ ヒマラヤ撮る

(野和田リーコ)



ダルシンがはためく向こうにヒマラヤ連山を望む